

素敵に輝け！

その挨拶が嬉しいな

24日（金）、4年生の校外学習に付き添うことになっていました。朝、職員室から校長室へ向かうとき、丁度向こうから4年生のAさんがやってきて「校長先生、今日はよろしくお願いします」と爽やかな挨拶をしてくれました。私はこの一言でとてもよい気分になりました。

このAさんは下校の際も「校長先生、今日はありがとうございました」と言ってくれました。更には、翌朝「校長先生、昨日はありがとうございました」とも。

Aさんとはたまたまのタイミングで会っているので、「これを言うぞ」と待ち構えていたのではないようです。「たまたま廊下に出たら校長先生がいました。今日は一緒に行ってもらってから挨拶しておこう」「もうそろそろ帰ろうと廊下に出たら校長先生がいました。今日は一緒に行ってもらったから挨拶しておこう」という感じです。つまり「すんなり口から挨拶の言葉が出る」のです。Aさんには挨拶が身に付いているのだろーと思えます。

4年生は全体的に挨拶が上手で、回ったそれぞれの見学先で気持ちのよい挨拶をしていました。「みんな、大きな声で挨拶するよ」と促さなくてもできるところが素敵です。挨拶をして相手方に褒められると、「そうでしょう」と誇りたくなります。

そう言えば、こういうことがありました。担任の先生と話していた子が、校外学習のウキウキ感からでしょうか、うっかり友達と会話をするような話し方になっていました。それを聞いたBさんが、「ところで何で先生にタメ口（相手を対等として扱った話し方）なが」と注意をしていました。4年生は「こういう場ではこういう挨拶をする」「この立場の人にはこういう話し方をする」という感覚をもっていて、それを実際に使ったり、間違えている人に注意をしたりすることで、集団全体が正しい言葉のやり取りをできるようになっているのかもしれない。

挨拶の大切さをこの度の姉妹校交流でも感じました。初めて会うということでやや緊張した気持ちでいましたが、挨拶を交わしたときの印象がよかったら前から知り合いだったような感じで会話ができました。会話の言葉遣いが丁寧なものであってもです。

挨拶は心と心をつなぐ始まりですね。